



まつばら

令和 4 年 度
第 4 号
令和 4 年 7 月 1 日
草加市立松原小学校



「江戸しぐさ」から学ぶ

松原小学校 校長 中村哲也

観測史上、最も短い梅雨が明け、連日気温30度を超える暑い日が続き、時には40度を超えるほどの酷暑となりました。電力使用量も増加し、貯水率等も気になるこの頃です。

先日は気温の急激な変化からつむじ風が発生し、急遽引き渡しを行わせていただきました。保護者の皆さまのご理解、ご協力のおかげで、大きな混乱やけが等もなく子どもたちを帰宅させることができました。心より感謝申し上げます。今後、熱中症予防を含め、秋口にかけて大型台風の襲来がないのを祈る次第でございます。

さて今月は、越川禮子著「商人道江戸しぐさの知恵袋」（講談社）についてまとめました。これから夏休みに入ることもあり、室内での安全な過ごし方や相手への思いやりの心を育てることを主眼にご紹介します。江戸しぐさは、当時、世界でも有数の人口密集都市だった江戸でお互いを尊重しつつ、気持ちよく生活するために生み出された庶民の知恵です。各地の小中学校で「江戸しぐさ」が道徳科の教材として取り上げられてきております。それでは、子どもたちに伝えたい内容を含めて、代表的なものを紹介します。



傘かしげ	雨の日に互いの傘を外側に傾け、相手に滴が垂れないように配慮する行為のことです。
肩引き	狭い路地などで行き違う時、互いに右肩を引いて胸と胸を合わせる格好ですれ違う行為のことです。
うかつあやまり	人ごみの往来で足を踏まれた時に、踏んだ方はもちろん、踏まれた方も「こちらこそ、うっかりいたしました」と言い謝る行為のことです。
蟹歩き	一人しか歩けないような道ですれ違う時、互いに蟹のように横歩きをする行為のことです。
時泥棒	突然押しかけて、相手の都合にかかわりなく、勝手に時間を奪う行為のことです。この当時、江戸の人々は相手への思いやりのない行為として、大変に嫌いました。

今、日本では、急速に既存の価値観の見直しが始まっています。使い捨てる消費社会から、エコの社会へ 人と地球にやさしい環境を守る社会への移行などがその例です。「商人道江戸しぐさの知恵袋」には、それらと呼応するようにマナーや道徳という現代人に欠けている点などが記載されており、読むと「はっ」とさせられる箇所がいくつもありました。折を見て、ご家庭でも子どもたちの生活に活かしていただければ幸いです。

1学期も終わりとなりますが、7月もどうぞ、保護者の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。